



西条の
元気!

地域活力の源泉は産業にあり

SICS PRESENTS

ものづくり PEOPLE

vol.01

“ものづくり”に頑張る人々を紹介するコーナーです。

地域産業をサポート！
産業情報支援センター
TEL0897-53-0010
食の創造館
TEL0898-65-7150

<運営>
㈱西条産業情報支援センター
通称：サイクス

今回のPEOPLE

(株)サイプレス・スナダヤの皆さん

明治25（1892）年に材木商として創業。木材の製材品・集材品を取り扱う中、林産資源の好循環・高環境型ビジネスの確立を目指し、平成30年3月16日に東予インダストリアルパーク内にCLT新工場を竣工。本社は小松町新屋敷。

CLTの可能性と普及に向けて

国内初のCLT一貫生産工場が始動！

「当社の生産工場は、原木の製材からCLT製造まで一貫した生産ができる国内初の工場です。物流コストや原木の調達による材料コストの低減などで、価格競争力の強化が可能です」と同社の砂田和之社長。

国内でのCLT生産は、まだ始まったばかり。同社では、サイクスや木材加工・建築関連会社などと協力して普及促進に向けた「E-CLT（株）」を3月20日に設立しました。

「今後は販売やPR活動、活用についての情報収集など、ソフト面に

四 国の広大な森林資源を活用し、新たな産業を創出する拠点工場がこの春に誕生しました。その工場とは、(株)サイプレス・スナダヤのCLT（クロス・ラミネーテッド・ティンバー）一貫生産工場です。

CLTは「直交集成板」と呼ばれる欧州で開発された建築資材です。長い板状の木材を縦横交互に張り合わせた厚型のパネルで、強度・断熱性に優れ、容易に加工でき、中高層建築にも活用できることから、国産材の需要拡大が期待されています。

2020年東京五輪のオリンピックスタジアムとなる新国立競技場の建設にも使用が予定されており、近年注目を集めています。

も力を入れていこうと考えています。木材の多用は環境の悪化と捉える方もいるかもしれませんが、木材は植林などによって持続可能な循環型資源です。普及活動を通じてCLTは資源を有効活用した省二酸化炭素型の資材であることを、皆さまに知っていただきたいです。

国内の林業界全体を盛り上げようと、同社のCLT生産と普及活動がこれから本格スタートします。



▲サイプレス・スナダヤの皆さんと新工場竣工に携わった関係者の皆さん。背景パネルはCLTで制作。新工場は大きなアドバンテージとなる国内最大級の幅3m×長さ12mのCLT生産が可能。



@akira_1972_さん

数ある桜の投稿の中でも特にいいね！の多かった1枚。花筏になる前のひょうたん池。



@megimogemiさん

路地を何度も往復しプロパンガスを運ぶ後ろ姿。暮らしの「当たり前」を支える仕事。

@icccha456さん



“出汁巻たまごサンド”お出汁じゅわあ〜”市内のとあるカフェのメニューとのこと。

＼ 今月の /

#lovesaijo
ラブさいじょう

市公式インスタグラムへの投稿写真を紹介します。

問合せ 市庁舎本館4階シ
ティプロモーション推進課
TEL0897-52-1682